

名古屋大学教養教育院&高等教育研究センター 共催セミナー

ファカルティ・ディベロップメントと 学生の学習支援 —米豪の比較を通して—

キム・マックシェーン 氏

カリフォルニア大学サンタバーバラ校
授業開発研究員

講演概要

本セミナーでは世界の高等教育をリードする米豪の研究重点大学における、ファカルティ・ディベロップメント(FD)の特徴について説明する。次に、FDへの取り組みや、教授学習に関する見解について米豪を比較する。特に、研究重点大学のFDセンターが課題としている次のような問題に着目する。①研究重点大学における教授学習センターの位置づけ、②教員のFDへの見方、③新しいテクノロジーの導入等に対する世代間ギャップ、④多人数講義や成績評価の難しさ。

留学生への対応については、特有の課題がある。問題のいくつかを確認しつつ、教員と学部・研究科、大学組織の三者それぞれが、多様な言語や文化的背景をもつ学部学生や大学院学生をどのように支援できるか、知見や情報を共有したい。

日時：2010年2月24日（水）

16時00分～18時00分

場所：名古屋大学 東山キャンパス
文系総合館7階オープンホール

お問い合わせ：

久保田 祐歌（内線5386）

info@cshe.nagoya-u.ac.jp

本セミナーは英語で行います。通訳はありません。

本セミナーは、名古屋大学国際化拠点整備事業の一環として実施するものです。